

神代植物公園通り周辺の 都市計画道路の見直し方針

《資料》



はじめに

市は、平成28年3月に策定した「調布市道路網計画」において、「神代植物公園通り周辺の都市計画道路(調布3・4・9号線, 調布3・4・14号線, 調布3・4・15号線)」(以下「計画検討3路線」という。)を計画検討路線として位置付け、検討を進めて参りました。

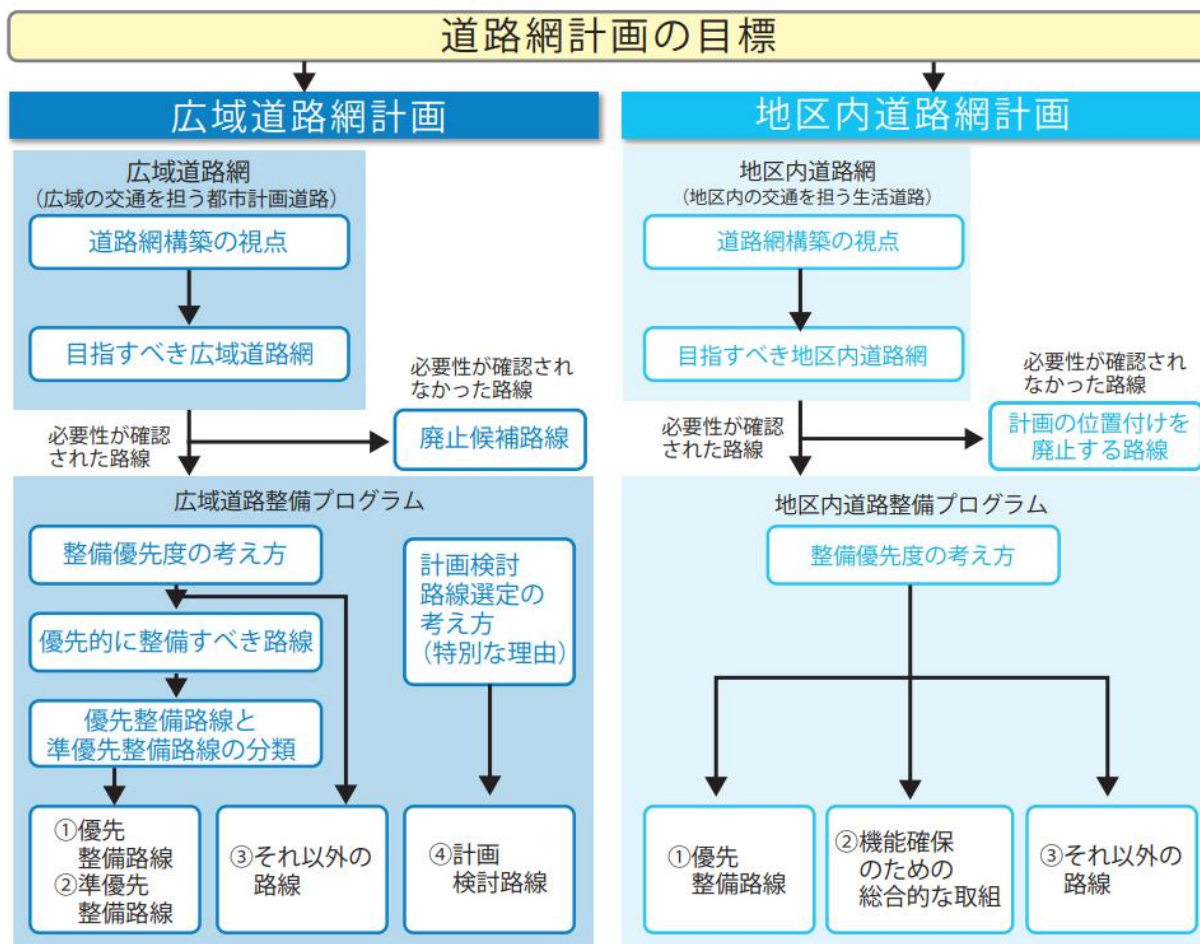
この度、これまで市民の皆様からいただいたご意見や関係機関との協議等を踏まえ、「**神代植物公園通り周辺の都市計画道路の見直し方針**」を定めました。

目次

1	調布市道路網計画とは	1
2	神代植物公園通り周辺の都市計画道路(計画検討3路線)の見直し方針	4
3	計画検討3路線の見直しと併せた地区内道路網の変更	9
4	計画検討3路線の見直しに伴う影響	13
5	スケジュール(予定)	15
6	参考	16

1 調布市道路網計画とは

市は、広域的な移動を支える「都市計画道路」と地区内の移動を支える「生活道路」を体系的、機能的に連携した道路網として、バランスよく整備していくことが重要であると考え、「調布市道路網計画」（以下「道路網計画」という。）を平成28年3月に策定しました。

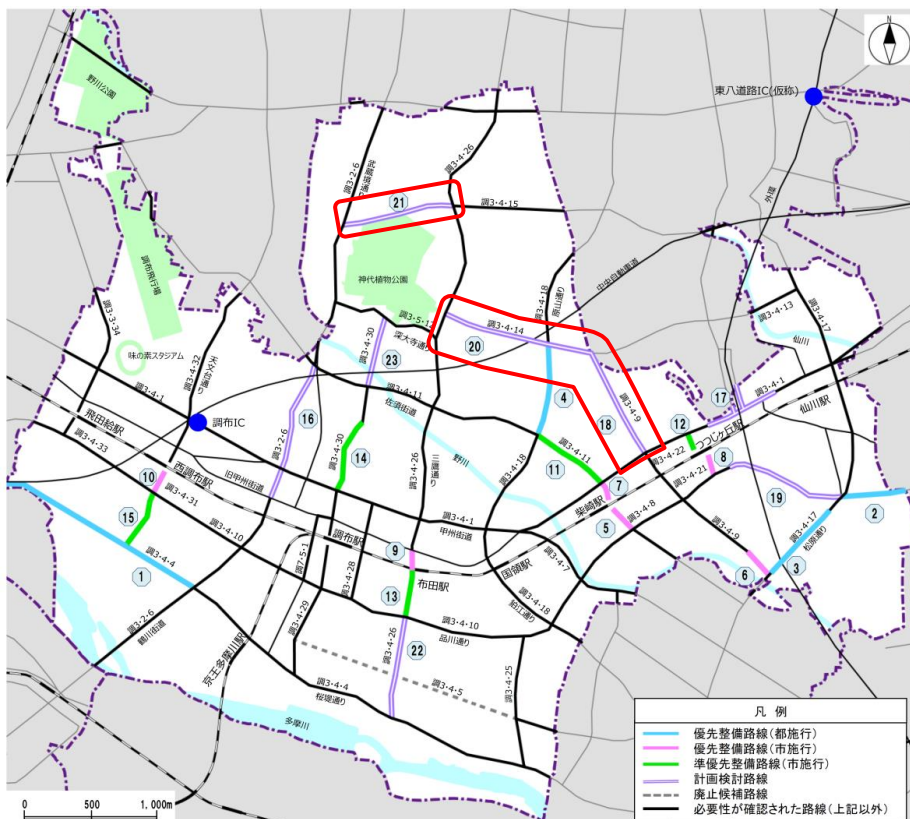


道路網計画の構成

計画検討 3 路線の位置付け

神代植物公園通りと並行する計画検討 3 路線は、道路網計画において既存道路を活用し、都市計画道路の機能代替の可能性のある路線として、計画検討路線に位置付けています。

計画検討路線とは、道路網構築の視点により広域道路網として必要性が確認された路線のうち、特別な事由により、道路の線形、幅員、位置、構造の変更など都市計画の内容について検討する必要がある路線です。



計画検討路線（検討主体：都）（2路線）

No	路線	区間	延長(m)
16	調布3・2・6号線	都道119～中央自動車道	980
17	三鷹3・4・13号線支線1、支線2 調布3・4・1号線	調布3・4・1～三鷹市境	870
	合計		1,850

計画検討路線（検討主体：市）（6路線）

No	路線	区間	延長(m)
18	調布3・4・9号線	調布3・4・1～調布3・4・14	830
19	調布3・4・10号線	調布3・4・17～東つつじヶ丘2丁目	920
20	調布3・4・14号線	調布3・4・9～調布3・4・26	1,150
21	調布3・4・15号線	調布3・4・26～調布3・2・6	840
22	調布3・4・26号線	調布3・4・4～調布3・4・10	770
23	調布3・4・30号線	調布3・4・11～調布3・5・12	420
	合計		4,930

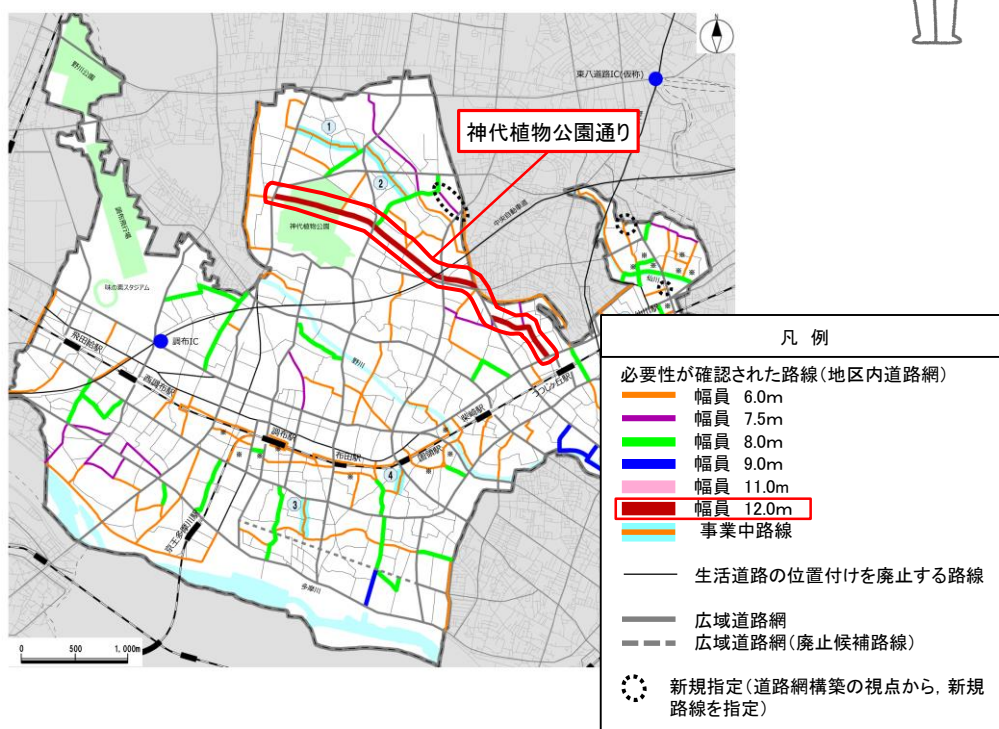
神代植物公園通りの位置付け

神代植物公園通りは、道路網計画において、計画幅員12.0mの地区内道路に位置付けるとともに、広域道路と合わせて今後検討する路線に位置付けています。本路線の機能改善を図ることにより、計画検討3路線の機能代替の可能性について検討することとしています。

地区内道路整備プログラム



目指すべき地区内道路網の幅員



神代植物公園通り周辺の都市計画道路の見直し方針

これまで市民の皆様からいただいたご意見や関係機関との協議等を踏まえ、以下のとおり「**見直し方針**」を定めました。

1 調布3・4・9号線（甲州街道から上ノ原五差路までの区間）

→ 現都市計画案（現計画位置のまま）とします。

2 調布3・4・14号線（上ノ原五差路から深大寺五差路までの区間）

→ ルート変更案（神代植物公園通りの機能強化）とします。

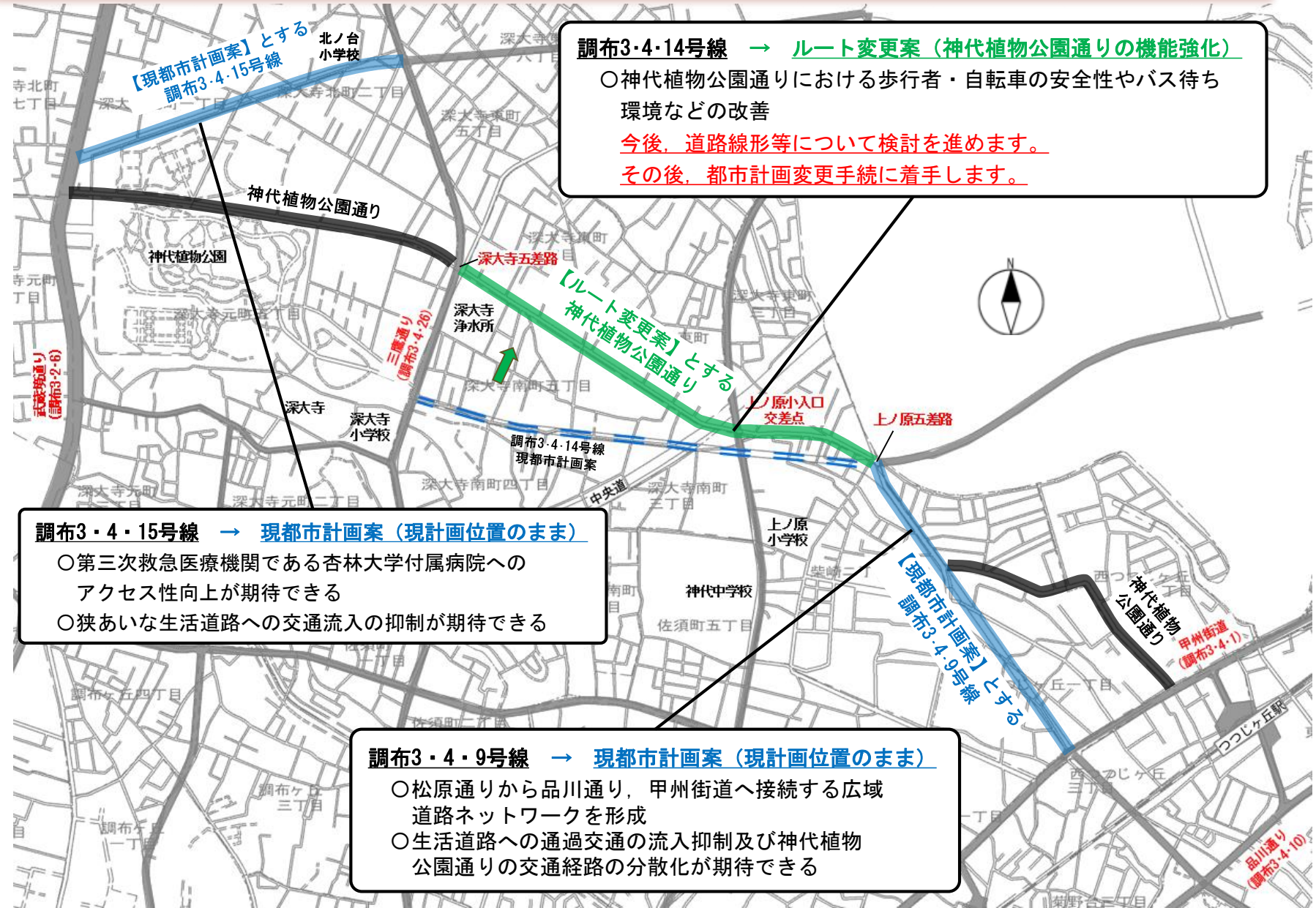
今後、道路線形等について検討を進めます。その後、都市計画変更手続きに着手します。

3 調布3・4・15号線（三鷹通りから武蔵境通りまでの区間）

→ 現都市計画案（現計画位置のまま）とします。



神代植物公園通り周辺の都市計画道路の見直し方針



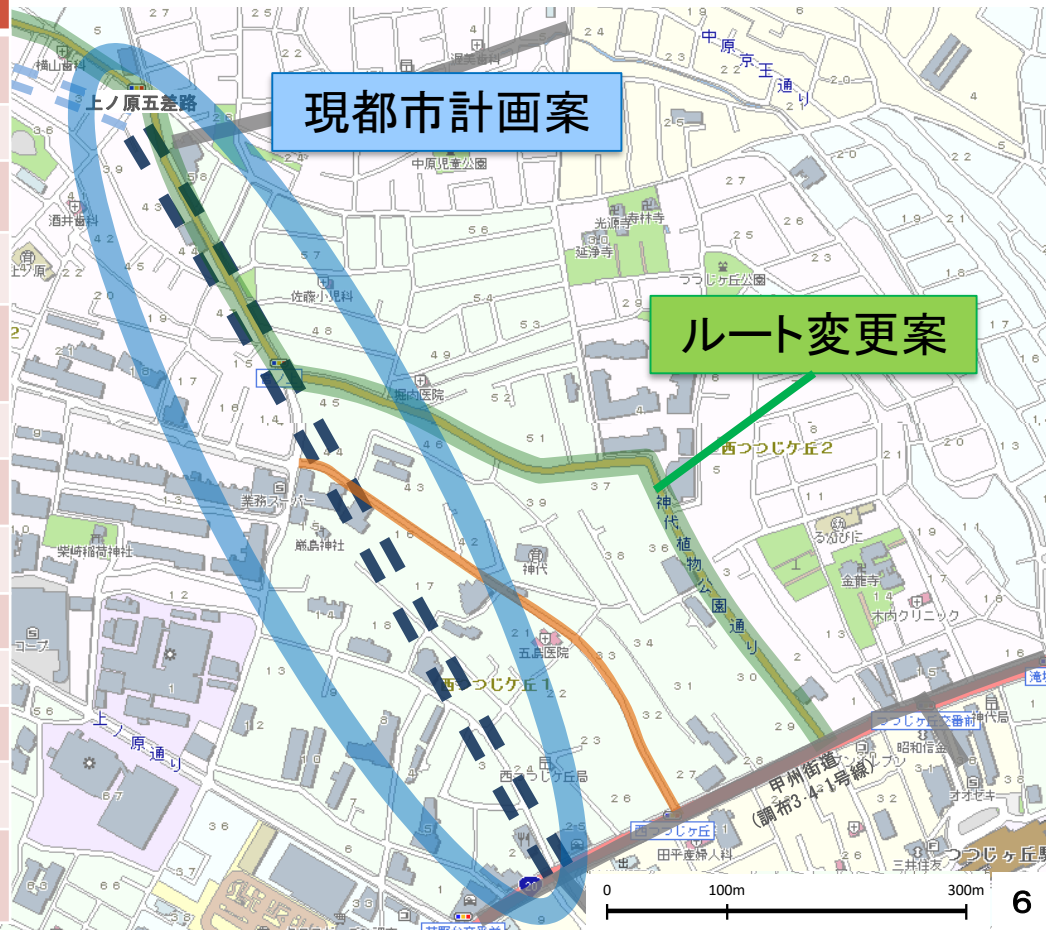
2 神代植物公園通り周辺の都市計画道路(計画検討3路線)の見直し方針

調布3・4・9号線の見直し方針

【現都市計画案】とする

- ・ 松原通りから品川通り，甲州街道へ接続する広域道路ネットワークを形成します。
- ・ 生活道路への通過交通の流入抑制及び神代植物公園通りの交通経路の分散化が期待できます。

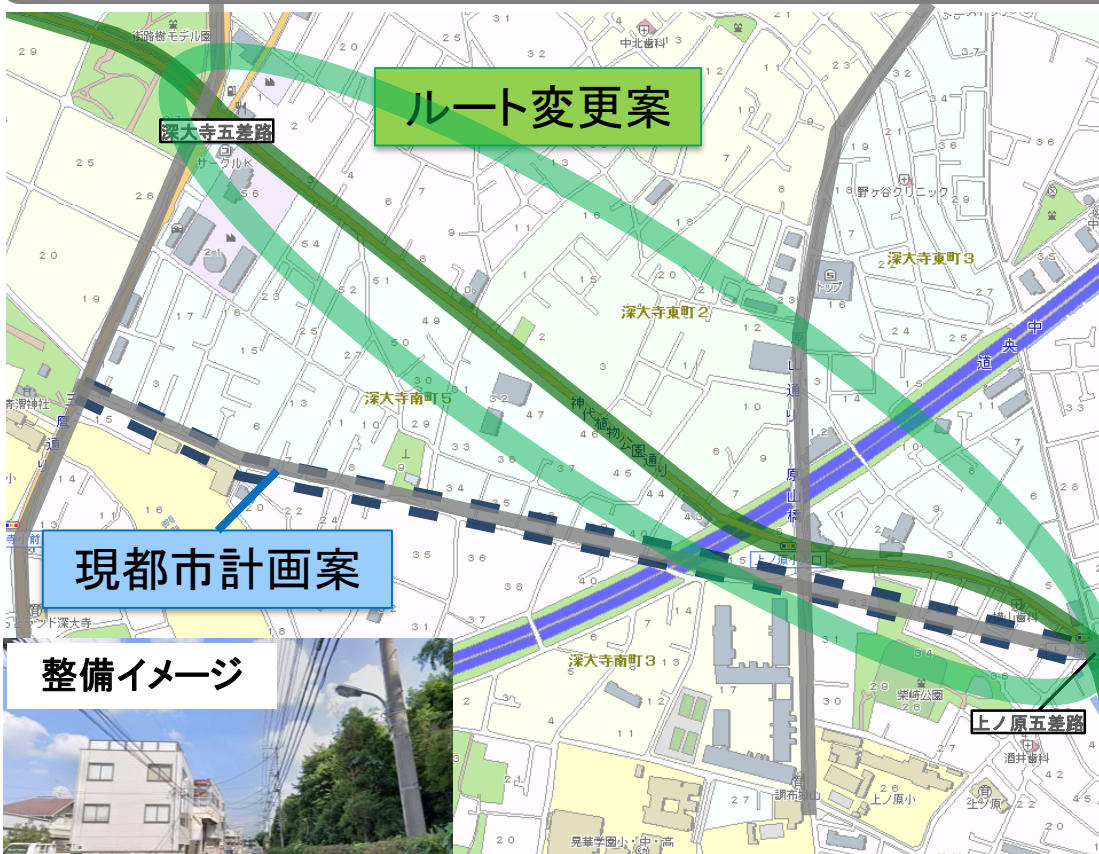
	【ルート変更案】	【現都市計画案】
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより，誰もが安全に移動できる環境が確保されます。 ・ バス待ち環境の改善が図られます。 	—
快適性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより，誰もが快適に歩ける空間が確保されます。 ・ 現在の交通量より増加することが予想されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活道路への通過交通の流入抑制が期待できます。 ・ 新たな交通経路が確保され，神代植物公園通りの交通量分散が期待できます。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅することで，自転車の走行環境が改善されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甲州街道より南側と接続することで，広域道路網が形成されます。 ・ 新たにバスルートの新設（または転換）が期待されます。
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植樹帯の設置により，良好な景観の形成が期待できます。 	—
防災性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅と無電柱化を行うことで，災害時でも車両通行が可能になります。 ・ 道路拡幅することで，延焼遮断機能が形成されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甲州街道への新たな移動ルートが確保されます。
事業性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転対象：約100棟 ・ 堅ろうな建物が立ち並んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転対象：約60棟 ・ 都市計画により既に建築制限が課されています。



調布3・4・14号線の見直し方針

【ルート変更案】とする

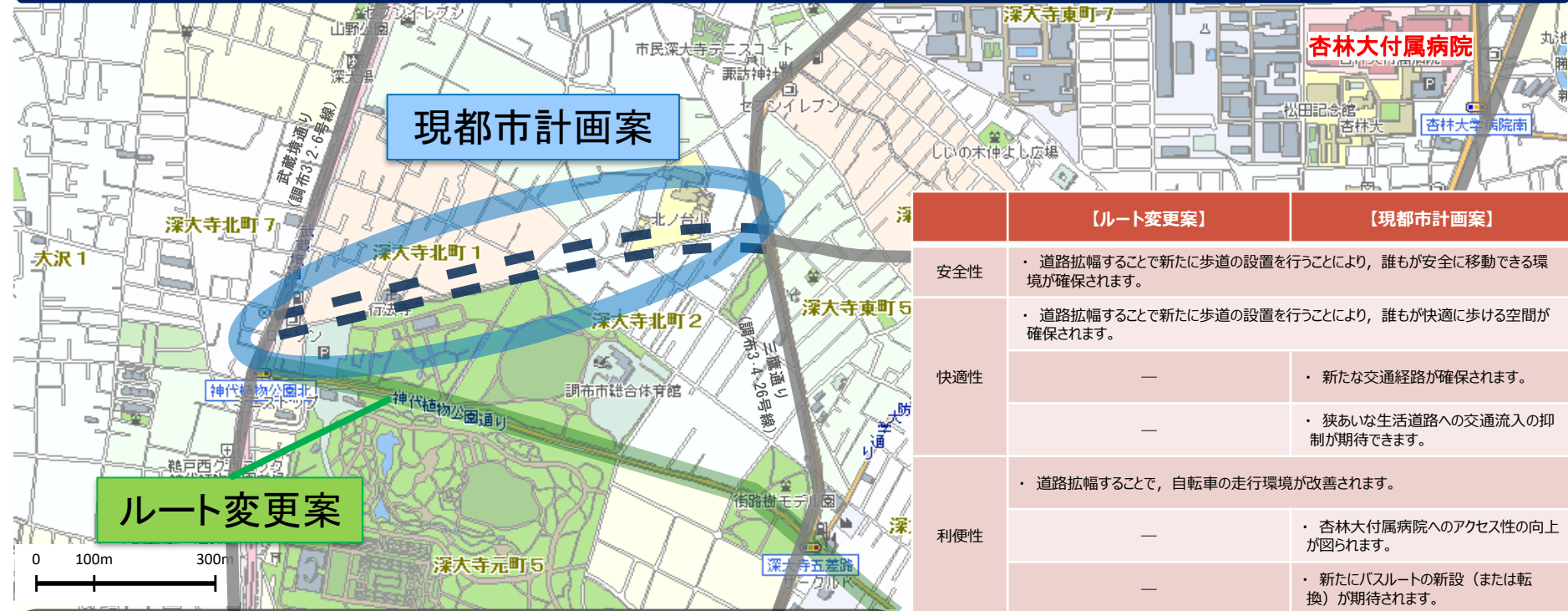
- 神代植物公園通りにおける歩行者・自転車の安全性やバス待ち環境などの改善が図られます。



	【ルート変更案】	【現都市計画案】
安全性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが安全に移動できる環境が確保されます。 バス待ち環境の改善が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の神代植物公園通りのバス待ち環境の改善は困難です。
快適性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが快適に歩ける空間が確保されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 神代植物公園通りの交通量は変わらないことを予測しています。 神代植物公園通りの自動車の安全かつ円滑な走行性の向上には繋がりません。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅することで、自転車の走行環境が改善されます。 深大寺や神代植物公園へのアクセス性の向上が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たにバスルートの新設（または転換）が期待されます。
住環境	<ul style="list-style-type: none"> 植樹帯の設置により、良好な景観の形成が期待できます。 	
防災性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅と無電柱化を行うことで、災害時でも車両通行が可能になります。 道路拡幅することで、延焼遮断機能が形成されます。 広域避難場所である神代植物公園へのアクセス性の向上が図れます。 	
事業性	<ul style="list-style-type: none"> 移転対象：約60棟 堅ろうな建物が多いエリアがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 移転対象：約100棟 都市計画により既に建築制限が課されています。

調布3・4・15号線の見直し方針

【現都市計画案】とする



- ・ 第三次救急医療機関である杏林大学付属病院へのアクセス性向上が期待できます。
- ・ 狭い生活道路への交通流入の抑制が期待できます。

	【ルート変更案】	【現都市計画案】
安全性	・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが安全に移動できる環境が確保されます。	・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが快適に歩ける空間が確保されます。
快適性	—	・ 新たな交通経路が確保されます。 ・ 狭い生活道路への交通流入の抑制が期待できます。
利便性	—	・ 道路拡幅することで、自転車の走行環境が改善されます。 ・ 杏林大付属病院へのアクセス性の向上が図られます。 ・ 新たにバスルートの新設（または転換）が期待されます。
住環境	—	・ 植樹帯の設置により、良好な景観の形成が期待できます。
防災性	—	・ 道路拡幅と無電柱化を行うことで、災害時でも車両通行が可能になります。 ・ 道路拡幅することで、延焼遮断機能が形成されます。 ・ 広域避難場所である神代植物公園へのアクセス性の向上が図られます。
事業性	・ 移転対象：約 5 棟	・ 移転対象：約 15 棟 ・ 都市計画により既に建築制限が課されています。

3 計画検討3路線の見直しと併せた地区内道路網の変更

計画検討3路線の見直しと併せた地区内道路網の変更【神代植物公園通り】

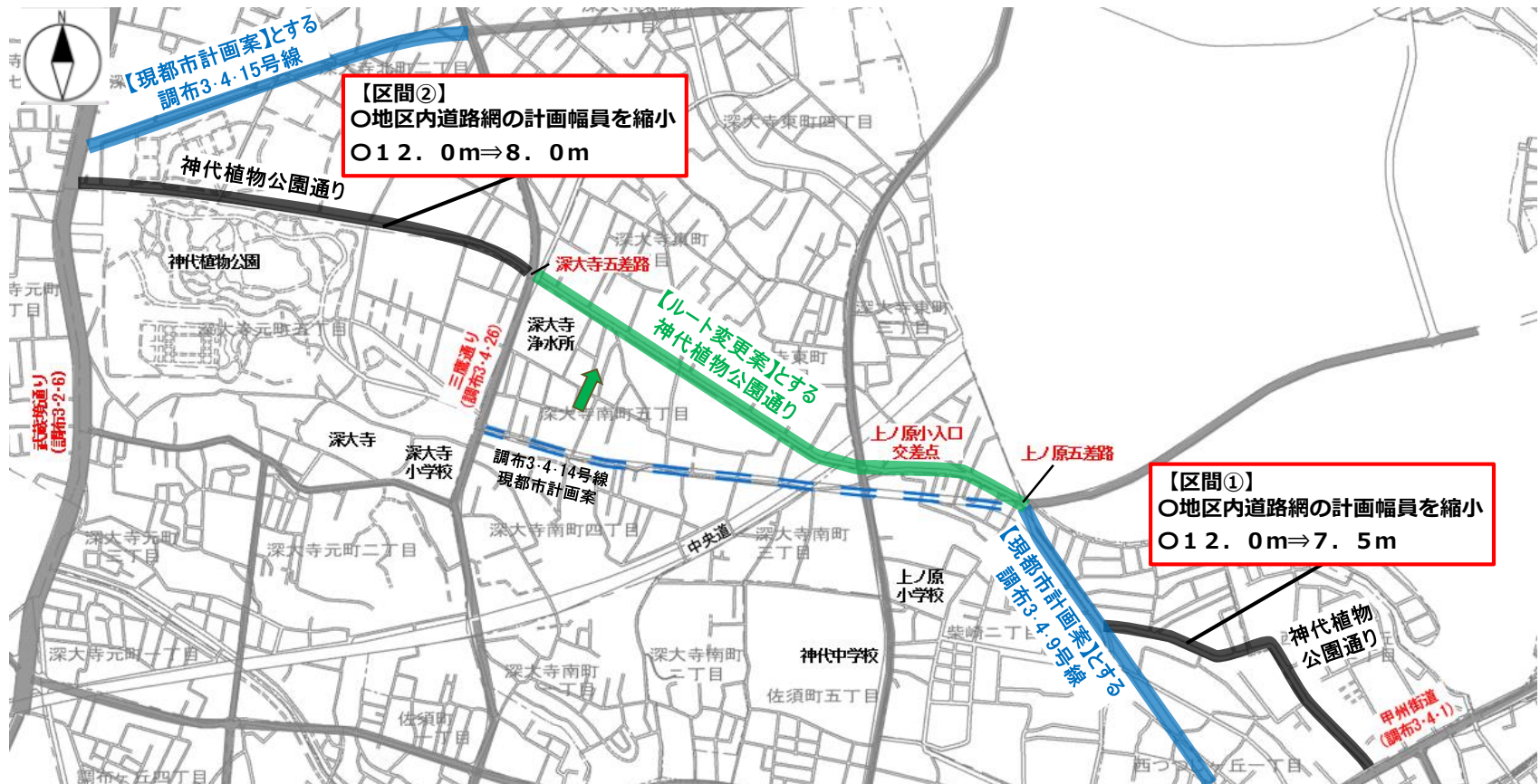
神代植物公園通り(地区内道路：計画幅員12.0m)のうち次の2区間は、**計画幅員を変更(縮小)**します。

【区間①：調布3・4・9号線と並行する区間】

- ・計画幅員を12.0mから**7.5m**へ変更します。

【区間②：調布3・4・15号線と並行する区間】

- ・計画幅員を12.0mから**8.0m**へ変更します。



3 計画検討3路線の見直しと併せた地区内道路網の変更

【神代植物公園通り：区間①】

- 神代植物公園通りの調布3・4・9号線と並行する区間(区間①)は、計画幅員を12.0mから **7.5m**へ変更します。
- 沿道建物の建替えや開発事業などの機をとらえ、関係権利者のご協力をいただきながら、道路空間の確保に努めます。

現状と課題

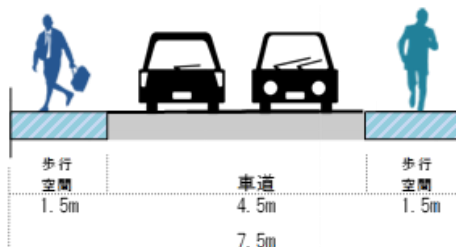
- 京王線つつじヶ丘駅に近く、通勤・通学時間帯は歩行者や自転車利用者が多く、歩行空間の確保と安全性の向上が必要です。
- 当路線における、バスの運行本数は約150本/日（うち、ミニバスが10本/日）となっており、調布3・4・9号線を整備することで、バス路線の転換等が期待できます。一方、現在のバス利用状況を踏まえると全てのバス路線が転換されることは困難であることが想定されるため、バスの走行可能な幅員の確保が必要となっています。

計画幅員

- 道路幅員設定の考え方から、路線バスの通行を踏まえ、幅員 **7.5m**とします。

道路幅員設定の考え方

道路網構築の視点 (地区内道路網)	道路幅員設定の考え方	計画幅員
鉄道駅へのアクセス性向上に資する道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの走行路線 路線バスの走行に伴う歩行者の安全性を確保する。 両側に、歩道または歩行者空間を確保する。 ・ミニバスの走行路線 ミニバスの走行に伴う歩行者の安全性を確保する。 両側に歩行者空間を確保する。 ・徒歩・自転車によるアクセス路線 歩行者と自転車を優先させる道路とする。 車道は4.5mを確保し、両側に歩行者空間を確保する。 ・駐輪場へのアクセス路線 歩行者と自転車がそれぞれ安全に通行できる道路とする。 車道は4.5mを確保し、両側に歩行者空間を確保する。 	7.5~12.0m
住みやすいまちを形成する道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・道路愛称の付いている路線のうち、市民生活に密接に関連し日常の交通を支える路線 歩行者と自転車がそれぞれ安全に通行できる道路とする。 	6.0m



幅員7.5mの道路の断面構成イメージ



【調布3・4・9号線と並行する区間】の通勤時間帯の状況

3 計画検討3路線の見直しと併せた地区内道路網の変更

【神代植物公園通り：区間②】

- 神代植物公園通りの調布3・4・15号線と並行する区間(区間②)は、計画幅員を12.0mから **8.0m**へ変更します。
- これにより、整備済区間となります。

現状と課題

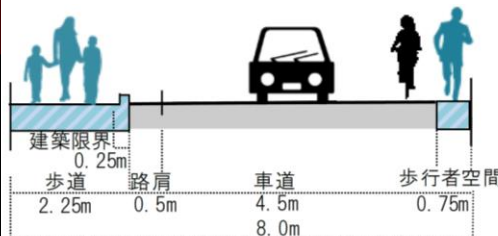
- 神代植物公園や深大寺方面のバスルートとなっており、調布3・4・15号線の完成により、既存のバス路線の転換が見込まれます。一方、現在のバス利用状況を踏まえると全てのバス路線が転換されることは困難であることが想定されます。

計画幅員

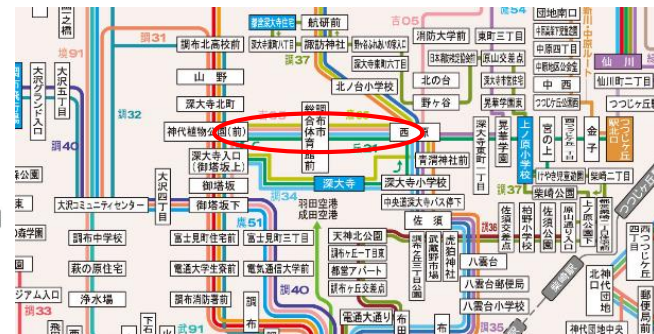
- 道路幅員設定の考え方から、路線バスの通行を踏まえるとともに現況幅員を考慮し、幅員 **8.0m**とします。
- 現況の最低幅員が8.2mのため、整備済区間となります。

道路幅員設定の考え方

道路網構築の視点 (地区内道路網)	道路幅員設定の考え方	計画幅員
鉄道駅へのアクセス性向上に資する道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの走行路線 路線バスの走行に伴う歩行者の安全性を確保する。両側に、歩道または歩行者空間を確保する。 	7.5~12.0m
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニバスの走行路線 ミニバスの走行に伴う歩行者の安全性を確保する。両側に歩行者空間を確保する。 	6.0~8.0m
	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩・自転車によるアクセス路線 歩行者と自転車を優先させる道路とする。車道は4.5mを確保し、両側に歩行者空間を確保する。 	6.0m
	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場へのアクセス路線 歩行者と自転車がそれぞれ安全に通行できる道路とする。車道は4.5mを確保し、両側に歩行者空間を確保する。 	6.0m
緊急時の物資や活動人員の輸送を支える道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動困難区域の解消に資する路線 震災時に消防車がスムーズに通れる幅員を確保する。 	6.0m
	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動時に必要な路線 消防署へのヒアリング結果より、幅員6mを確保する。 	6.0m
緊急時の避難を支える道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路、都道と避難所間の路線 徒歩で避難所や広域避難場所に確実に到達できるようにする。建物等の倒壊によって道路が閉塞されない幅員を確保する。 	6.0m
	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所と都市計画道路間の路線 	6.0m
住みやすいまちを形成する道路網の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・道路愛称の付いている路線のうち、市民生活に密接に関連し日常の交通を支える路線 歩行者と自転車がそれぞれ安全に通行できる道路とする。 	6.0m



幅員8.0mの道路の断面構成イメージ



<現状の運行経路と運行本数>

- ・つつじヶ丘駅 - 深大寺方面 約110本/日
- ・調布駅 - 深大寺方面 約15本/日
- ・調布駅 - 吉祥寺駅 約20本/日
- ・三鷹駅 - 深大寺方面 約30本/日
- ・吉祥寺駅 - 深大寺方面 約30本/日

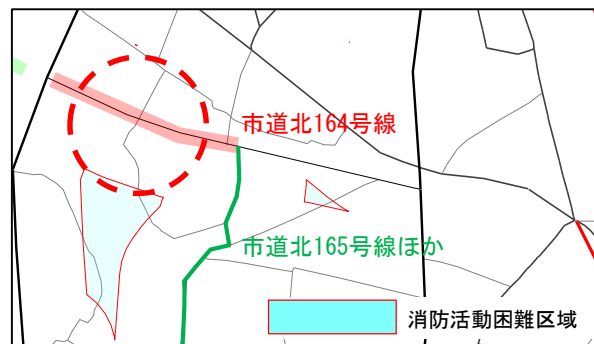
3 計画検討3路線の見直しと併せた地区内道路網の変更

【市道北164号線】

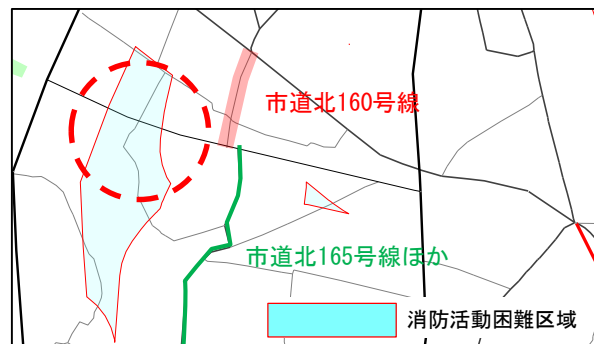
- 調布3・4・14号線のルート変更に伴い、**市道北164号線の一部**を新たに計画幅員6.0mの地区内道路として位置付けます。
- 幅員6.0mに拡幅整備することで、消防活動困難区域の解消に期待ができます。
- 具体的な計画の検討と併せて整備の優先度を検討して参ります。



地区内道路の見直し



市道北164号線の位置及び当該路線を幅員6.0mとした場合の消防活動困難区域



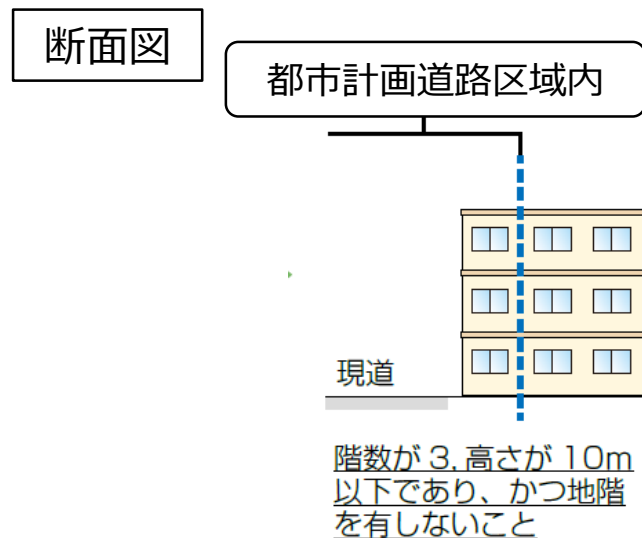
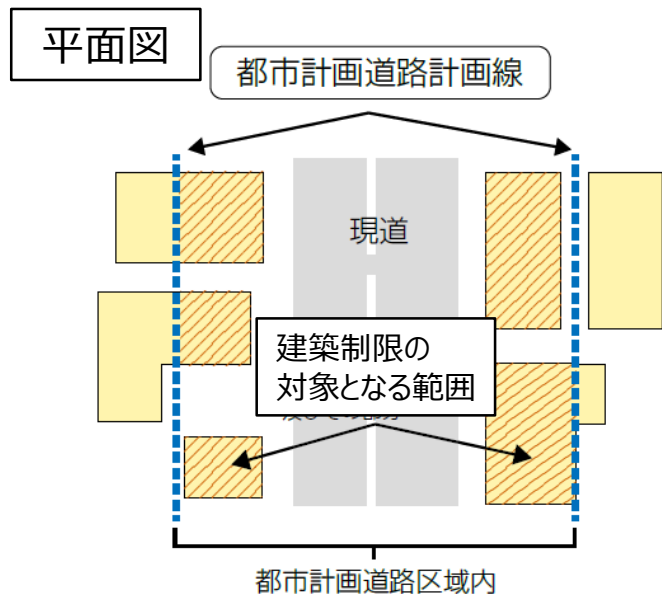
市道北160号線の位置及び当該路線を幅員6.0mとした場合の消防活動困難区域

(1) 新たな都市計画道路区域の決定に伴う建築制限

見直し方針に基づき、都市計画道路(調布3・4・14号線)を神代植物公園通りにルート変更することにより、都市計画の変更後は、新たに都市計画道路の区域内となるエリアには、都市計画法により建築行為に対する制限が課されます。

【建築制限の主な適用基準】

- 階数が3、高さが10m以下であり、かつ地階を有しないこと
- 主要構造物が木造、鉄骨造、コンクリートブロック造その他これらに類する構造であること

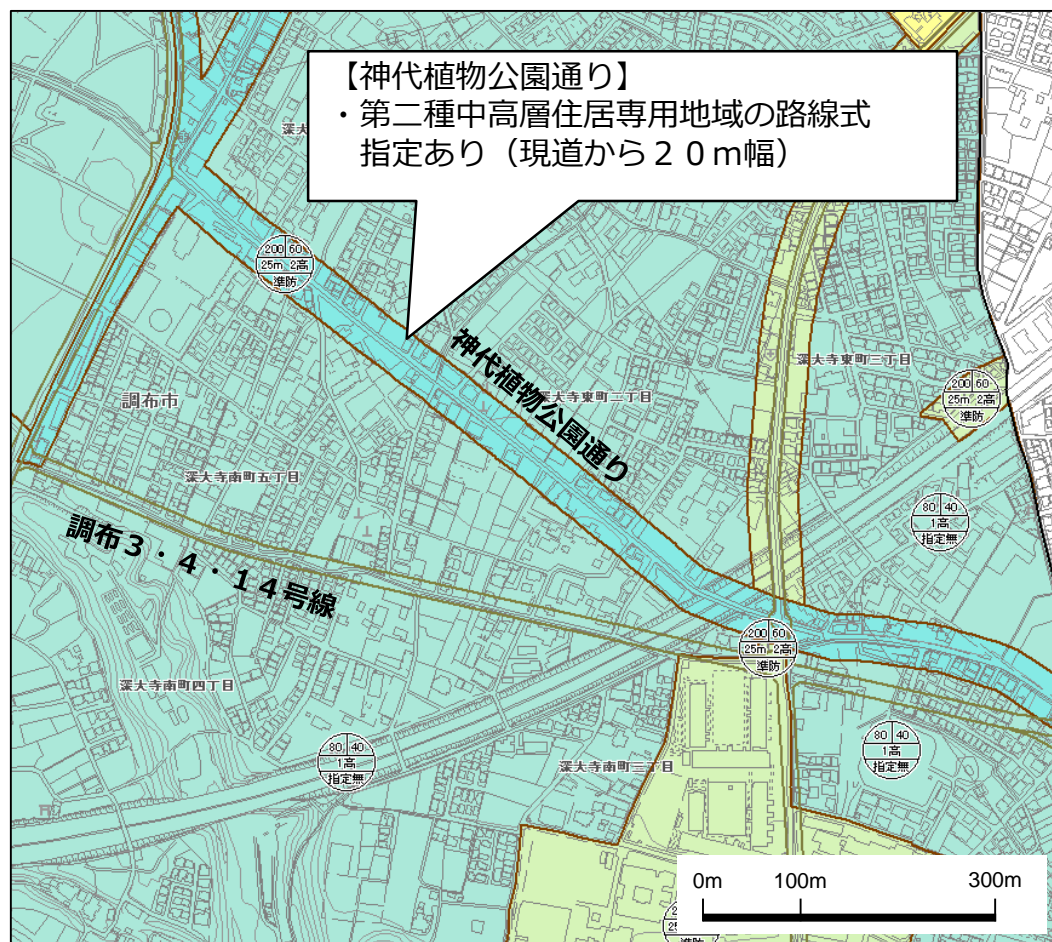


(2) 都市計画事業に必要な土地等の提供のお願い

都市計画事業を実施する際は、都市計画事業の施行に必要な土地等の提供をお願いすることになります。

(3) 用途地域等の路線式指定の見直し検討

見直し方針に基づき、都市計画道路(調布3・4・14号線)を神代植物公園通りにルート変更することにより、用途地域等の路線式指定の区域の幅が変わる可能性があります。



用途地域等の現状(調布3・4・14号線周辺)

凡例

内容	凡例画像
用途地域	
区域区分	市街化区域
	市街化調整区域
用途地域	第一種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
都市計画道路	都市計画道路

5 スケジュール(予定)

<計画の検討(調布市)>

<市民参加(市民)>

平成28年3月

調布市道路網計画 策定

令和元年9月

地域の交通課題と将来計画の考え方

令和2年8月

将来計画案の選定による
「見直し方針(案)」の公表

令和3年3月

「見直し方針」の公表

令和3年度以降

道路線形等の検討, 都市計画変更手続



← 現在は
この段階



• 地元の各協議会

• 沿線住民アンケート
• みちの井戸端会議

• みちの井戸端会議

• みちの井戸端会議
• 説明会, 意見書の提出 など

これまで実施した市民参加の結果概要

これまでに、沿線住民及び地権者に対するアンケート調査やみちの井戸端会議を実施しました。

＜アンケート調査概要・結果＞

調査対象	計画検討3路線の計画線，計画線内に土地を所有されている方 神代植物公園通り沿線にお住まいの方
方法	ポスティング及び郵送で配布し，郵送回収
実施時期	配布：令和元年9月2日（月）～令和元年9月5日（木），回答期限：令和元年10月4日（金）
配布数	2,200通（郵送：258通，ポスティング：1,942通）
回収数	165通
回収率	7.5%

＜みちの井戸端会議（令和元年度）概要・結果＞

実施時期	令和元年9月19日（木），令和元年9月22日（日），令和元年9月23日（月・祝）， 令和元年9月26日（木），令和元年9月27日（金），令和元年9月28日（土）
開催場所	つつじヶ丘駅，上ノ原ふれあいの家，深大寺地域福祉センター
周知方法	市報ちょうふ，ホームページに開催日程を掲載，上記アンケート調査の封筒に案内状を同封
来訪者数	78人

＜みちの井戸端会議（令和2年度）概要・結果＞

実施時期	令和2年8月19日（水），令和2年8月20日（木），令和2年8月22日（土）
開催場所	つつじヶ丘児童館ホール，上ノ原ふれあいの家，深大寺地域福祉センター
周知方法	市報ちょうふ，ホームページに開催日程を掲載，案内状をポスティング
来訪者数	72人

これまでに市民の皆様からいただいたご意見

これまでに市民の皆様から様々なご意見をいただきました。なかでも安全性、快適性、利便性、住環境、防災性、効率性に関するご意見が多く寄せられています。

市民の皆様からいただいた主なご意見

安全性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 誰もが安全に移動できる環境を整備してほしい ➤ 神代植物公園通りは、バスを待つ環境を改善してほしい
快適性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 連続して歩ける空間を整備してほしい ➤ 自動車で渋滞に巻き込まれず移動できるようにしてほしい ➤ 五差路など変則交差点が多いため、改善してほしい
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 鉄道駅や深大寺、救急病院まで、アクセスしやすくしてほしい
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 緑が多い地域なので、森林や住環境などを保全してほしい
防災性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 防災拠点である神代植物公園まで、緊急時にも移動できるようにしてほしい
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 少子高齢化による民生費増加も考慮して、効率的に道路整備をしてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自転車利用者のマナー啓発をしてほしい ➤ 意見聴取の方法は簡単なものにしてほしい ➤ スケジュールを示してほしい

これまでに市民の皆様からいただいたご意見

安全性に対するご意見



神代植物公園通りの安全性を高めてほしい

【市の考え方】

- 神代植物公園通りはバス路線となっていますが、ほとんどの区間で歩道が整備されていないことから、歩行者が安全に通行できるようにしてほしいというご意見が挙げられています。
- 市としては、調布3・4・9号線は、**現都市計画案（現計画位置のまま）**とする方針であり、道路整備により神代植物公園通りへの通過交通の流入抑制が期待され、神代植物公園通りの安全性の向上が見込まれると考えています。沿道建物の建替えや開発事業などの機をとらえ、関係権利者のご協力をいただきながら、道路空間の確保に努めます。
- 調布3・4・14号線は、**ルート変更案（神代植物公園通りの機能強化）**とする方針であり、神代植物公園通りを拡幅し、歩道の設置等により、安全性の向上を図ります。
- 調布3・4・15号線と並行する神代植物公園通りは、歩道が整備済みであり、歩行者等の安全性は既に確保されていると考えています。

利便性に対するご意見



道路のネットワーク化を進めてほしい

【市の考え方】

- 調布3・4・9号線を整備することにより、松原通りから品川通り、甲州街道へ接続する広域道路ネットワークを形成します。
- また、調布3・4・15号線を整備することにより、高度救命救急センターが存在する杏林大学病院へのアクセス性の向上が期待できます。

これまでに市民の皆様からいただいたご意見

その他のご意見



事業時期を明確にしてほしい

【市の考え方】

- 現在、市は、道路網計画において位置付けた優先整備路線（令和7年度までに整備または着手する路線）のうち、未着手路線について事業化に向けた検討を進めています。
- 計画検討3路線については、今後、具体的な計画の検討と併せて整備の優先度を検討して参ります。



丁寧に地域住民に説明を行ってほしい。

【市の考え方】

- 計画検討3路線及び神代植物公園通りの検討を進めるに当たっては、沿線住民アンケート、みちの井戸端会議（オープンハウス形式）等を通じて、市民の皆様からご意見をいただきながら検討を進めて参りました。
- 今後も引き続き、市民の皆様にご意見を伺いながら、検討を進めて参ります。

調布市道路網計画



調布市道路網計画については、こちらをご覧ください。↓

(URL:<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1459224131290/index.html>)



← 掲載ページはこちら

調布市道路網計画(パンフレット)



調布市道路網計画(パンフレット)については、こちらをご覧ください。↓

(URL:<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1476146153792/index.html>)



← 掲載ページはこちら

《お問合せ先》

調布市 都市整備部 街づくり事業課 事業計画係

TEL:042-481-7587/FAX:042-481-6800

E-mail:tokeido@w2.city.chofu.tokyo.jp